

第6次社会資本整備重点計画の概要(案)

取り巻く社会経済情勢の変化 【第1章】 <<時代の重大な岐路に立つ、我が国の社会経済情勢>>

人口減少等が もたらす地域の危機	インフラ老朽化の 更なる進行	災害の 激甚化・頻発化	成長型経済への 転換期にある経済	地球環境を巡る 世界的な潮流	デジタル・新技術 の急速な進歩	暮らし・働き方や ニーズの多様化
---------------------	-------------------	----------------	---------------------	-------------------	--------------------	---------------------

重点目標と目指す社会の姿 【第2章】 <<目指す姿を掲げ、そこからバックキャストして社会資本整備のビジョンを構想>>

- 我が国が直面する先送りできない社会課題に真正面から向き合い、時代の要請に応えながら危機を好機に変え、未来を切り拓くインフラ政策を構築
⇒社会経済情勢を踏まえ、**インフラ政策の「羅針盤」**として、**4つの重点目標**を掲げ、それぞれ**目指す姿**と、**実現に向けた進路**を示す
- インフラマネジメント**をインフラ政策の核心に据え、**国民の共有財産**であるインフラを、社会経済のニーズに合わせて効果的に活用し、価値を創出

人口減少という危機を好機に変え、一人ひとりが豊かさと安心を実感できる持続可能な活力ある経済・社会を実現

重点目標Ⅰ	活力のある持続可能な地域社会の形成	重点目標Ⅱ	強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会	重点目標Ⅲ	インフラ分野が先導するグリーン社会の実現
--------------	-------------------	--------------	----------------------	--------------	----------------------

【目指す姿】 地域経済の核となる集積づくりと広域連携 - まちづくり・交通と一体のもとで持続可能な都市構造に転換（日常の行動圏内で生活サービスが享受できる地域の形成） - 地域資源を活用した「稼ぐ力」の創出と、広域ネットワークによる地域の経済圏の拡大 地域の将来像を踏まえたインフラの再構築 - 埼玉県八潮市における道路陥没事故の教訓を踏まえた老朽化対策の徹底 - 人口減少に対応し、まちづくりと一体で良質なストックを形成 包摂的な共生社会に向けた地域づくりと豊かで快適な生活環境 - バリアフリー・ジェンダー主流化の推進、安全な移動空間の形成 - インフラ空間を活用した豊かで過ごしやすい環境形成	【目指す姿】 持続的で力強い経済成長の実現 - 生産性向上を支える人流・物流ネットワーク整備 - 地域の産業立地に対応した周辺インフラの整備 - 革新的なイノベーションの社会実装の促進（自動運転サービスの実現、自動物流道路等） 暮らしと経済の礎となる防災・減災、国土強靱化 - 能登半島地震等の教訓も踏まえ、ハード・ソフト一体になった「事前防災」の加速化・深化 - あらゆる関係者の総力を結集した平時からの備えの強化（TEC-FORCE等の体制・機能の拡充、防災拠点の強化）	【目指す姿】 2050年カーボンニュートラルの実現 - インフラ空間を活用した再生可能エネルギーの拡大 - 脱炭素化を支える基盤の整備 自然共生社会の実現 - 河川空間等におけるグリーンインフラの形成推進 - ネイチャーポジティブの実現 資源循環型の経済社会システムの構築 - 建設リサイクルの高度化 - 産業副産物等を利用したブルーインフラの整備 - 下水汚泥資源の肥料利用の推進
---	--	--

重点目標Ⅳ	戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化
--------------	-------------------------

【目指す姿】 地域のインフラを支える地方公共団体の管理機能の維持 広域・複数・多分野のインフラ管理の推進（地域インフラ群再生戦略マネジメント）	建設業等の担い手の確保・育成、生産性向上 - 第三次・担い手3法を踏まえた処遇改善、働き方改革の推進 - i-Construction2.0等を通じた現場の生産性の向上	新技術・DXによるインフラの価値向上 - データ連携やAIを活用したインフラDX - オープンデータによる建築・都市のDX
--	--	---

インフラマネジメントを通じて社会資本ストックの質的改善と高度化を推進

ハード・ソフトの活用	他分野連携	官民連携	地域住民の参画	イノベーション創出
【例】 インフラ整備×新技術	流域総合水管理の推進	PPP/PFIの推進	住民参加型インフラメンテナンス	AI、新技術の導入

戦略的・計画的な社会資本整備を支える安定的・持続的な公共投資

「国民共有の貴重な資産」であるインフラを支える、国民一人ひとりの理解の醸成

重点目標と目指す姿、政策パッケージ【第3章】

重点目標Ⅰ：活力のある持続可能な地域社会の形成



Ⅰ－１ 地域経済の核となる集積づくりと広域連携

- 生活関連サービスの維持に必要な人口や機能の集積と移動の足が確保された地域づくり -

- ① 生活関連サービスが持続的に確保される人口の確保に向けた都市機能等の誘導・集積
- ② 地域経済の好循環の形成と「域外から稼ぐ」力の向上
- ③ 域内外を結ぶ交通ネットワークの整備

Ⅰ－２ 地域の将来像を踏まえたインフラの再構築

- インフラの安全性確保と、将来のまちづくりや地域づくりの姿に即したインフラストックの形成 -

- ① 点検・診断等の確実かつ効率的な実施
- ② 人口減少時代に対応したインフラストックマネジメント体系へのバージョンアップ
- ③ インフラ再構築の取組を継続的に後押しする仕組みの構築

Ⅰ－３ 包摂的な共生社会に向けた地域づくりと豊かで快適な生活環境

- 日常生活の安全性や利便性の向上、誰もが安全で便利に暮らせる地域の実現、あらゆる人に親しまれるインフラ空間の形成 -

- ① あらゆる地域で、誰もが安心して暮らせるバリアフリー等の推進
- ② 誰もが安全・安心に移動し、生活できる環境の形成
- ③ 多様な資源を活かした魅力ある地域づくり
- ④ 地域の人々が集まりつながりが生まれる公共空間の創出

重点目標Ⅱ：強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会



Ⅱ－１ 持続的で力強い経済成長の実現

- 人口減少・少子高齢化のもとでも力強く持続的に経済が発展する基盤の構築 -

- ① 生産性向上を支える強靱で効率的な人流・物流インフラの整備
- ② 経済安全保障上に資する企業立地に向けた基盤整備とインフラのセキュリティ強化
- ③ 民間資金を活用した都市の国際競争力を高める基盤の整備
- ④ インフラ産業の成長力強化
- ⑤ インフラ分野の新技术を活用して経済社会活動に変革をもたらすサービスの導入

Ⅱ－２ 暮らしと経済の礎となる防災・減災、国土強靱化

- 激甚化・頻発化する気象災害や切迫する巨大地震等のリスクから国民の生命・財産と経済活動の基盤を守り、経済社会活動の持続性を確保 -

- ① 激甚化・頻発化し、切迫する災害に対応した「事前防災」の加速化・深化
- ② 被災後の迅速な復旧・復興も見据え、あらゆる関係者の総力を結集した平時からの防災体制の強化
- ③ 新技术等を活用した災害対策の効率・効果の最大化

重点目標Ⅲ：インフラ分野が先導するグリーン社会の実現



Ⅲ－１ 2050年カーボンニュートラルの実現

- 脱炭素化を支える基盤の整備を通じて、国民生活や経済活動の排出削減をけん引 -

- ① 運輸、家庭・業務部門の脱炭素化を支える基盤整備
- ② インフラ空間を活用した再生可能エネルギーの拡大
- ③ インフラのライフサイクル全体での脱炭素化

Ⅲ－２ 自然と共生する社会の実現

- 自然が有する機能を社会課題解決に活用し、人と自然のより良い関係を構築 -

- ① 流域治水におけるグリーンインフラの活用推進
- ② 都市・地域における水辺・緑地や良好な生態系の保全・再生・活用等
- ③ グリーンインフラの活用促進に向けた官民の意識の醸成

Ⅲ－３ 資源循環型の経済社会システムの構築

- インフラ分野における資源循環の促進による循環型社会への移行 -

- ① 建設リサイクルの高度化
- ② 上下水道資源の最大限の有効利用
- ③ 港湾を核とする広域的な資源循環ネットワークの強化

重点目標Ⅳ：戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化



Ⅳ－１ 地域のインフラを支える自治体の管理機能の維持

- 地域のインフラ管理を担う自治体の機能維持と地域のインフラメンテナンス産業の持続的な成長 -

- ① 広域・複数・多分野の施設を一体として捉えた戦略的なインフラ管理の主流化
- ② 複数の地方公共団体、官民等の連携・協働体制の構築促進
- ③ インフラの効率的な管理に資する新技术・情報基盤の整備・活用

Ⅳ－２ 建設業・運輸業等の担い手の確保・育成、DXによる生産性向上

- 人口減少下においても、「地域の守り手」である建設業や運輸業等の確保 -

- ① インフラを支える建設業や運輸業等の担い手の確保・育成と生産性向上に向けた取組

Ⅳ－３ 新技术・DXによるインフラの価値向上

- インフラデータ空間の構築やAI・ロボット等の新技术活用によるインフラサービスの高度化とインフラ関連の新産業創出の実現 -

- ① データ連携やAI等を活用した賢く(Smart)、安全で(Safe)、持続可能な(Sustainable)インフラの管理・運用
- ② インフラ、都市・地域のオープンなデータ空間の構築による、インフラの管理・運用の高度化
- ③ 産学官が連携した研究開発やスタートアップ支援等によるインフラ関連の新産業の創出

計画の着実な推進【第4章】

地方ブロックの社会資本整備重点計画の策定、重点計画のフォローアップ